

210mm (表紙の裏面です)

C'

210mm

B'

207mm

A'



Corporate identity

経営理念

障がい者(児童)に対し、集団生活等に適応できるよう療育・訓練を実施し、将来の自立のためのサポートを実施することを使命とし活動しています。

自立支援だけでなく、将来の就労に向けた活動(ダンボール潰し、手動シュレッター)や、音楽療法、ダンス、体操、歌、絵画等、個々の興味や特性を把握し、日々の活動を充実し注力しながら、管轄エリアを中心に現在の利用者からのニーズに応えるべく、新たな福祉施設の展開を行います。

My dream

将来の夢

人それぞれが自分らしく生きる社会を実現するための架け橋となる法人でありたい。

- ・ 障害児童福祉施設の充実
- ・ 障がい児とご家族の将来のためのサポートの強化
- ・ 自分らしく生きる環境づくり

自社の強み

ワンストップサービスの営業体制、オンリーワンで市場を差別化している。保育士を中心に児童の成長を熟知したスタッフが揃っています。ご家庭や学校との連携を大切に、児童の将来を見据えてサポートを実施します。

**子ども達のこれからの創造する。今からできること。
今だからやれること。それを共有できるパートナーであり続けます。**

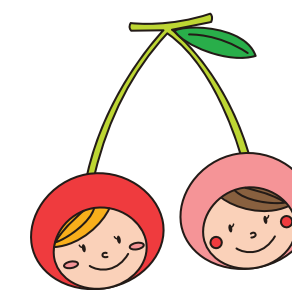
「たまみずき」とは、レット症候群という名の未だ基礎研究段階の障がいをおった双子の女の子「たまき」と「みずき」より名付けられました。

二人の娘の病状や将来を考えた父親は仕事を辞め、二人の将来のためできる限り、娘の近くで支援できないものかと考えました。また同時に自分と同じ境遇に在る人があるであろうと考えました。「障がい者の親になる」それは予期せぬ、戸惑いの連続…だからこそ、彼女達の考えていることや行動について誰よりも理解をしたい!そんな気持ちでいる親は自分以外にもいるはず…

障がいのことだけでなく、福祉関係の仕事を探るうちに「児童デイサービス(現放課後等デイサービス)」という福祉事業に出会い、迷うことなく始めました。娘の将来はもちろん、同じ境遇に在る方々には絶対喜んでもらえる自信があったからです。

児童を預かることだけでなく、その時間を「療育」や「訓練」にあてることにより、我が子が自立へと近づきます。送迎への負担を国が認めることにより、保護者が付き添わなくても自宅まで無事に帰って来れます。そして、時間がかかっても成し遂げた成果に自分事のように喜べるスタッフがいます。

「埼玉たまみずきの会」を立ち上げ、今日に至ります。障害福祉の充実にはまだまだ時間がかかりますが、ご家族が安心してご利用頂けるサービスを展開していきます。地域に根付いて、皆様から親しまれる団体を目指し続けます



Superiority

有資格(保育士、社会福祉士、精神保健福祉士、介護福祉士、幼稚園教諭、学校教諭)者、経験者が多数在籍しています。

最も必要なスキルは子ども達が好きなこと。子ども達の今と将来を考え続けることが大好きなスタッフだけが在籍しています。

学校や関係機関からの信頼が厚く、それゆえの保護者様からの信頼を頂いております。



Customer benefits

とにかく子どもの将来を考えることを目標とし、今何が出来るかを日々考えております。お家の保護者様には、家での様子や過ごし方をお聞かせいただきながら、伸ばしたいところ、改善したいところ、お悩み等定期的な面談に加え、いつでも受けております。

